

## 1. 研究主題

# 未来に輝く子の育成

～ ともにつながり学び合う道徳の授業を通して ～

## 2. 主題設定の理由

今、子ども達に求められていることは、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力（確かな学力）」「自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性（豊かな心）」「たくましく生きるための健康な体力（健やかな体）」を重視する「生きる力」である。

道徳教育は、人間が本来もっている、よりよく生きようとする願いを実現できるようにするための教育活動であり、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としている。

本校の教育目標は、「かしこく やさしく たくましく」自他を認め大切にする心を持ち、自ら考え判断し実行していく力を身につけた子である。そのためには、自己肯定感を高め、目標をもってよりよく生きていこうとする態度・姿勢を子ども達一人一人に身につけさせていくことが必要である。

昨年度は、「つなぐ」「学び合う」というキーワードを大切に、道徳の授業や様々な教育活動を通して、道徳的価値の自覚を深め、自己の生き方を見つめ直すよう道徳教育の実践に取り組んできた。

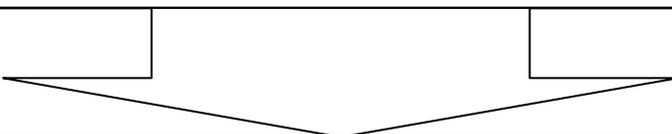
そこで今年度は、望ましい学習規律と学習習慣、規範意識を身につけさせ、よりよい人間関係を築く力をより高めるために心の教育を充実させていく。

子ども達が自らの心を見つめ、自己のよさや課題をとらえながら、自己の生き方について考えを深める学習を行いたい。物事を多面的・多角的に考えることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきたい。そのためにも、問題解決的な学習など学年に応じた指導方法の工夫や家庭・地域と連携した道徳授業の実践を行っていくこととする。

## 4. 研究の仮説

### 道徳の授業を通して

- ①いしかわ版道徳教材や映像資料、「私たちの道徳」等から資料を選択し、道徳の授業の充実を図ることで道徳的価値を実感できる。
- ②授業を通して、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。また、物事を多面的・多角的に考えることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる。
- ③家庭・地域と連携して道徳教育の充実を図ることで、家庭・地域の人々の道徳教育に関わる意識が高まり、協力して子ども達の道徳性を養うことができる。



### 未来に輝く子ども達

～ともにつながり学び合う道徳の授業を通して～



### 学校での教育活動、及び、 地域・家庭と連携した活動を通して

- ☆2：自ら課題を発見し、主体的・協働的に課題を解決する力を育成することで他者と連携、協力して取り組むことで、よりよい判断ができるようになる。
- ☆3：根拠や筋道を明確に表現する力を育成することで、自他の思いを大切にすることができる。
- ☆8：よりよい学習習慣・生活習慣の定着を図ることで、学習への関心・意欲を引き出すことができる。
- ☆12：保護者・地域との積極的な情報共有・連携の推進をすることで、一体となって子ども達を育てる環境づくりができる。

(学びの12か条+と関連して)

## 5. 研究内容

### (1) 「いしかわ版道徳教材」及び映像資料集や「私たちの道徳」を活用した道徳授業の工夫

- ・副読本を中心とした読み物資料に加え、県が開発した「ふるさとがはぐくむどうとくいしかわ」や文部科学省で開発した資料集等から選択し、道徳の授業の充実を図る。

### (2) 多様で効果的な指導方法の工夫

- ・平成27年7月に出された学習指導要領解説に記されている7つの工夫をもとに、ねらい、児童の実態、資料や学習指導過程などに応じて、最も適切な指導方法を選択する。

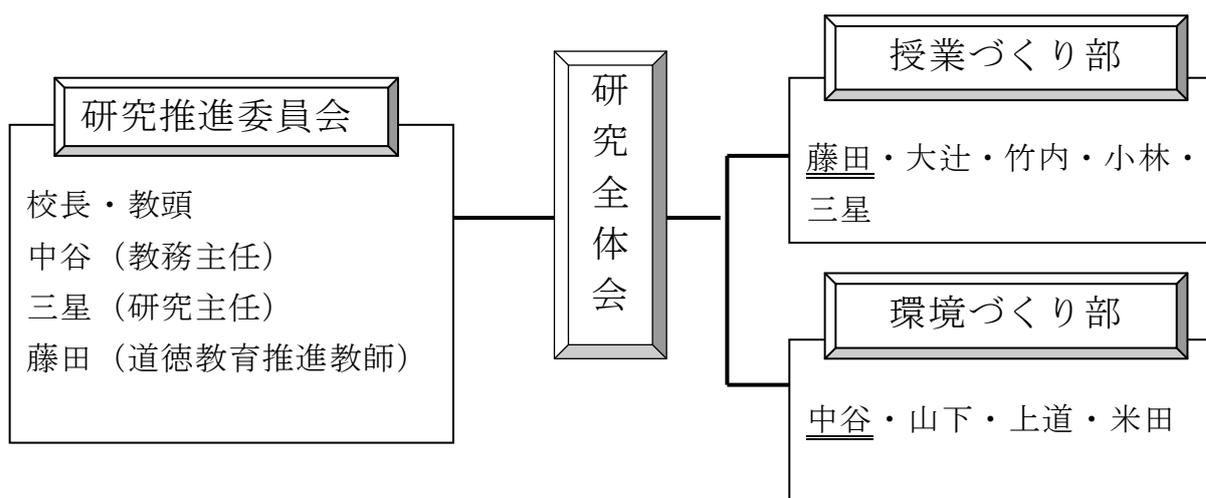
ア教材を提示する工夫    イ発問の工夫    ウ話合いの工夫  
エ書く活動の工夫    オ動作化、役割演技など表現活動の工夫  
カ板書を生かす工夫    キ説話の工夫

- ・児童が道徳的価値を自分との関わりで考えることができるような問題解決的な学習を取り入れたり、道徳性が効果的に養えるように、児童の日常的な体験はもちろん、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動など、多様な体験活動を生かしたりして、授業を工夫する。

### (3) 家庭・地域と連携した道徳授業の取り組み

- ・道徳授業の公開および道徳教育講演会の開催を行う。
- ・家庭や地域の人々の参加や協力を得た道徳授業の実践に取り組む。
- ・学校通信（しいの木）、道徳だより（つなぐ）、学級通信で、学校の道徳教育に関する情報や子ども達のよさや成長を知らせる。

## 6. 研究組織



## 7. 研究の進め方

### 研究推進委員会

- ・校長ビジョンに沿って話し合い，研究の方向や進め方を提案し，各部会の連携を図りながら組織的に実践を進める。

### 研究全体会

- ・全体協議の場で，研究について共通理解を図る。
- ・指導主事等による学習会の機会や，必要に応じて要請訪問の機会を設ける。
- ・各部会の活動内容の協議や校内研究会をする。
- ・計画訪問，要請訪問は道徳で授業研究を行う。
- ・指導案検討及び模擬授業を行う。
- ・研究会の機会を活用して研修報告，共通理解を図る。

### 部会

- ・授業づくり部は，授業研究等を深める。
- ・環境づくり部は，教育環境の充実を図る。